

全国自立援助ホーム協議会 第25回記念 愛知・名古屋大会

今を生きる力～25年の振り返りから、これからの未来を語る～

《趣旨》 全国自立援助ホーム協議会が結成されてから25年が経過した。この間に幾度かの制度改正を辿り、現在の形になってきた。直近では、平成28年の児童福祉法改正にて自立援助ホームの入居対象に就学者は22歳の年度末までの支援が可能となった。また、就学者以外でも社会的養護自立支援事業により22歳の年度末まで支援を行える措置がとられた。このように、これまでの18歳の壁と20歳までで支援が切れてしまっていた部分が時代と共に受け入れられる対応が図られたことは、社会的養護を必要とする子どもたちにとって、大変有益な制度となった。しかしながら、職員の質の向上を図るための人員配置やアフターケアの充実については課題が残っている。近年、増加が止まらない虐待相談件数や子どもの貧困問題、様々な理由で行き場を失った青少年たちが、支援の手を必要としながらも、どう生きていくか、我々援助者も一緒になって考えていく必要がある。「何とかなる」が、「何ともならない」状況を生まないように、これからの時代を背負っていく未来の宝として、今を生き抜く力を育ていけるように、自立援助ホームの力を発揮していきたいと思う。平成から引き継ぐ 新しい時代に向けて、25年の歴史を振り返り、これからの未来を語る場としたい。

《主催》 全国自立援助ホーム協議会

《後援》 厚生労働省・愛知県・名古屋市

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会・社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

愛知県児童福祉施設長会・名古屋市児童養護連絡協議会

全国児童自立支援施設協議会・全国児童心理治療施設協議会

公益財団法人全国里親会・日本ファミリーホーム協議会

子どもシェルター全国ネットワーク会議・認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク

(後援団体は全て予定です)

《期日》 平成30年11月5日(月)～6日(火)

《場所》 キャッスルプラザ 4階鳳凰の間他

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 TEL052-582-2121

FAX052-582-8666

《大会スケジュール》

	12:00	13:00	13:15	13:50	15:00	15:15	17:00	17:30	18:00	20:00
11月5日(月)		受付	開会式 (鳳凰の間)	行政説明 (鳳凰の間)	基調講演 (鳳凰の間)	休憩・移動	分科会	事務連絡	移動・チェックイン	交流会 (鳳凰の間)
	9:00	9:30	11:30	11:45	12:00					
11月6日(火)		受付 (鳳凰の間)	記念講演 (鳳凰の間)	休憩	閉会式					

【第1日】11月5日(月)12:00～受付 キャッスルプラザ 4階 鳳凰の間

《開会式》 13:00～13:15 ○主催者挨拶 ○来賓挨拶 ○感謝状贈呈

《行政説明》 13:15～13:50

○厚生労働省子ども家庭局 家庭福祉課長 成松英範氏

《基調講演》 14:00～15:00

『これからの自立援助ホームに期待するもの』

○講師 山縣文治氏(関西大学人間健康学部 教授)

○概要 新しい社会的養育ビジョンや自立支援の強化について言われている中、自立援助ホームには就学支援等様々な取り組みが期待されている。成人年齢も引き下げられるなど様々な状況が変化していく中で、自立援助ホームの期待されていく役割などをお話していただきます。

《分科会》 15:15～17:00 4階 梓の間・菊の間・皐月の間・茜の間・山吹の間

分科会A 「私の本音！！～若者が語る就学支援と高齢児支援の実際と未来～」

○講師 自立援助ホーム卒園生2名
内藤直人氏(鳥取フレンド 寮長)
合木啓雄氏(丸亀おひさま荘 ホーム長)

○司会 田村崇氏(鳥取スマイル 寮長)

○概要 平成29年度より新たな制度が創設され、22歳までの入居が可能となりました。本分科会では実際に支援を受けた若者本人のことを聴くことから就学者または高齢児に対しての具体的な支援と当事者目線で必要とされる支援の今後について学び語り合う。

○形式 講義とグループディスカッション

分科会B 「退居者支援」

○講師 久保田厚美氏(サポートいずみ 主任相談員)

○司会 屋代通子氏(シーズ南平岸ホーム長)

○概要 参加者が退居者への支援に関して日頃困惑していること、迷っていることを直感的に言語化して出しあい、退居者支援の何がネックになっているか、共有できるものなのか、バラバラなものなのかを視覚化してみる。その上でアフターケアサポート事業の実践の話聞き、視覚化された困りごとと実践例とを照らし合わせ、ヒントをつかむ場にしたいと考える。

○形式 グループディスカッション

分科会C 「こころの治療援助＝かすれた声に寄り添うこととは＝」

○ファシリテーター 串間範一氏(ウイング・オブ・ハート ホーム長)

○概要 自立援助ホームにたどり着いた子どもたちの中には、自分がいったい何をしているのか、これからどうなっていくのか本当に戸惑っている場合が少なくない。そんな彼らのかすれかけた声をどう受け止めて、どう支援すればいいのか。日々の暮らしの中での寄り添いを語り合いみつめていきたい。

○形式 グループワーク

分科会D 「人材確保対策」

○講師 黒川田氏(清周寮 寮長)

秋田豊氏(マラナ・タ ハウス ホーム長)

○司会 前川礼彦氏(湘南つばさの家ホーム長)

○概要 自立援助ホームの人材確保は児童養護施設より厳しく、スタッフの欠員で存続の危機に晒されるホームも少なくない。この厳しい運営状況の中でどの様に人材を確保していくのか、広報の工夫や待遇、人材確保の資源について、実践発表をして頂き、グループディスカッションでは各ホームや団体の実践を報告し、参加者との情報共有を深める会とする。

○形式 講義形式とグループディスカッション、グループ発表

分科会E 「就労支援の具体的取り組みについて～成功事例、失敗事例から学ぶ～」

○司会 中上純二氏(自立援助ホームきょうわ施設長)

○概要 自立援助ホームでは、「就労による自立」を支援の目標に置くケースが主となるが、どのように就労につなげるか、入居中にどのような支援を行うか、協力雇用主との連携、ホーム内での生活指導・援助などホーム内のルールの内訳なども含め、成功事例、失敗事例を積極的に発表いただき、課題の共有や情報交換、また支援の視点や在り方などを参加者それぞれが討議の中から気づき、今後の支援につなげることができればと思います。

○形式 事例発表(2例)、グループ討議・発表、まとめ

《交流会》 18:00～20:00 会場 4階 鳳凰の間

【第2日】11月6日(火)9:00～受付 キャッスルプラザ 4階鳳凰の間

≪記念講演≫ 9:30～11:30

『今を生きる力』

- 講師 古井 景 氏 (愛知淑徳大学心理学部・大学院教授
心理医療科学研究所 クリニック 心療内科・精神科 心理臨床相談室)
- 概要 大人も子どもも行き辛い世の中であるため、先生の経験された立場から社会的養護で生きている子どもたちの今を生きる力についてお話をさせていただきます。

≪閉会式≫ 11:45～12:00

- 主催者挨拶 ○実行委員長挨拶 ○次期開催地挨拶

◆参加費

参加費	夕食交流会費	※参加費には資料代(1,000円)が含まれています。
9,000円	7,000円	

※大会1日目又は2日目のみの参加の場合、5,000円を参加費としていただきます。

※振込先(ゆうちょ銀行)

- 口座名 全国自立援助ホーム連絡協議会
口座番号 記号 12150 番号 81346151(ゆうちょ銀行の場合)
店名 二一八支店 普通 8134615(他金融機関からの場合)

◆宿泊について

基本的には各自で確保していただきますが、会場のキャッスルプラザ(シングル 11,000円朝食付)につきましては、いくつか部屋を確保しておりますので、ご希望の方は申し込みの際にその旨お書きください(先着順・なお交通機関とのパックなどご自身で予約されている場合は記入する必要はございません)。

◆申込方法

- ①参加申込書(別紙1)に必要な事項ならびにご希望の分科会を記入してください。
- ②別紙1申込用紙に書いてある口座に申込金額のお振り込みをお願いいたします。
※領収書につきましてはお手元に残ります振込明細で代えさせていただきますが、必要な場合は当日受付横で発行いたしますので、受付の際その旨お知らせください。
- ③振込明細を所定の用紙(別紙2)に貼り付け、別紙1と一緒に郵送もしくはFAXにてお申し込みください。
(郵送・FAX以外での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。)
※各分科会には定員がありますので、超過した場合はこちらで調整させていただきます。
※別紙1・2がどちらも届いたところで受付完了といたします。
※9月20日締め切りとさせていただきます(必着)。
(先着順ですので、締切前でも定員に達した時点で締め切らせていただきます。)
- ④受付が完了いたしましたら参加受付証をメールで送付いたしますので、当日印刷してご持参ください。
※大会一週間前(10/30)までに参加受付証が届いていない場合は下記連絡先までご連絡ください。
※大会一週間前(10/30)以降のキャンセルにつきましては返金いたしませんのでご容赦ください。
それ以前につきましては、手数料・送料等を引いた金額を振り込み又は現金書留で送らせていただきます。

◆お申し込み及びお問い合わせ先

全国自立援助ホーム協議会事務局(担当:恒松大輔)
〒204-0022 東京都清瀬市松山 3-12-14 自立援助ホームあすなろ荘内
TEL(042)492-4632 FAX(042)492-8348 E-mail:zenjienkyou@gmail.com

アクセスマップ



公共交通機関(JR、地下鉄、近鉄、名鉄、市バスをご利用の方)

- 名古屋駅 徒歩 5~10 分(ユニモール地下街 11 番出口すぐ)

お車

- 中部国際空港 約 60 分(高速道路利用)
- 県営名古屋空港 約 20 分(高速道路利用)
- 名古屋高速綿橋出口 約 3 分
- 東名高速名古屋インター 約 30 分

※ホテルの駐車場について ・出入庫時間:7:30~23:00(時間外についてはフロントに確認してください)

・車高 2.1M まで

・駐車料金 240 円/30 分(宿泊の場合 1,000 円/泊)

(別紙1)

全国自立援助ホーム協議会 第25回記念愛知・名古屋大会 参加申込書

○参加ホーム、施設等について

施設名		代表者名:			
(種別:)					
住所	〒 -				
Tel	()	Fax	()	E-mail	

○参加者氏名(すべての項目に必ずご記入ください)

No.	氏名	参加するものに○をつけてください		合計金額	分科会希望※ (丸数字は希望順位)				
		大会	交流会		①	②	③	④	⑤
1	(男・女)	両日参加		円					
		5日のみ							
		役職							
2	(男・女)	両日参加		円					
		5日のみ							
		役職							
3	(男・女)	両日参加		円					
		5日のみ							
		役職							
4	(男・女)	両日参加		円					
		5日のみ							
		役職							
5	(男・女)	両日参加		円					
		5日のみ							
		役職							

※ 分科会は希望順にアルファベットをご記入ください(人数に限りがありますので、調整する場合があります)。

○宿泊について予約を希望される方はご記入ください(先着順なのでご希望に添えない場合があります・ご自身で予約された方は記入しないでください)

	宿泊日を○でご記入ください	希望をどちらか○
フリガナ 氏名	4日・5日・6日	喫煙室・禁煙室
フリガナ 氏名	4日・5日・6日	喫煙室・禁煙室
フリガナ 氏名	4日・5日・6日	喫煙室・禁煙室
フリガナ 氏名	4日・5日・6日	喫煙室・禁煙室
フリガナ 氏名	4日・5日・6日	喫煙室・禁煙室

○参加申込について 9月20日締め切り(消印有効)

○振込用紙は必ず別紙2に貼り付けて、本申込書と一緒にFAXもしくは郵送してください(コピー可)。

別紙1、別紙2が届いた時点で受付完了となります。

(別紙2)

振込用紙貼付票

送付日: 2018年 月 日

送付先: 全国自立援助ホーム協議会

事務局 あすなる荘

恒松 大輔 行

代表者名: _____

振込日: 年 月 日

連絡先 TEL: _____

この枠に振込控えを貼り付けてください
(はみ出しても問題ありません)

FAX送付先	(042) 492-8348
郵送先	〒204-0022 東京都清瀬市松山 3-12-14 自立援助ホームあすなる荘 恒松宛

※必ず別紙1と別紙2を送信もしくは同封してください。